

第2回神戸市再生可能エネルギー等導入推進基金事業に関する委員会 議事要旨

日 時	平成 27 年 5 月 18 日 (月) 16:00~17:00
場 所	神戸市役所 3 号館 3 階大会議室
出 席 者	会長 1 名、委員 6 名、事務局 (神戸市環境局職員) 5 名
議事要旨	
○開会	あいさつ (神戸市環境局環境貢献都市担当部長)
○事務局連絡	資料確認, 委員紹介
○議事 進行: 会長 (事務局)	神戸市再生可能エネルギー等導入推進基金事業の平成 25,26 年度の実績及び 27 年度の計画について状況報告
(委員意見)	<p><u>1. 平成 25・平成 26 年度事業実績について</u></p> <p>(1) 民間補助事業について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 平成 26 年度の民間補助事業に対し,民間事業者からの応募がなかったことが残念である。</li> <li>・ 補助率が 3 分の 1 であることが制度を利用しにくい問題点と思われる。</li> <li>・ FIT 制度の売電価格の下落もあり,民間事業者の経済的なメリットが明確でないことも要因と考えられる。</li> <li>・ 民間事業者が制度を利用しにくい理由の一覧を作って,国へ提出すれば,国でも検討してもらえるのではないか。</li> <li>・ 病院施設は防災施設であることから,導入をするべきであるという点を十分に民間事業者に説明するべきである。</li> </ul>
(事務局)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 民間事業者に対しアンケートを実施し, FIT 制度が使えないこと, 防災拠点でないこと制度が使えないこと等が, 利用しにくい理由との結果となっている。</li> <li>・ 民間補助事業に対する補助率は,制度的に 1/3 と定められている。</li> </ul>
(委員意見)	<p><u>2. 平成 27 年度事業計画について</u></p> <p>(1) 再生可能エネルギーの種類について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 導入内容が太陽光発電に偏っていることが気になる。</li> </ul>

<p>(事務局)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 他の再生可能エネルギー,例えば小水力発電の導入も検討してはどうか。他自治体の事例も参考にして,イニシャルコストの安い方法がないか検討してほしい。</li> <li>・ 河川の近くに設ける水力発電では,防災拠点にならないことも太陽光発電に偏る理由ではないかと思われる。市としては,GND 基金以外でも再生可能エネルギー利用の検討を進めると思う。色々な条件を勘案して,導入について検討してはどうか。</li> <li>・ 平成 7 年の阪神淡路大震災においては,道路渋滞を避けるため,夜間に給水車が動いた。水道施設において給水する際,電気が止まっているため照明がなく,作業に支障があった。そのようなことから,水道施設への太陽光発電・蓄電池の導入は意義のあるものと考えている。</li> <li>・ 再生可能エネルギーの利活用については, 今後も検討を進める</li> </ul>
<p>(委員意見)</p>	<p>(2) 事業評価手法について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事業実施過程の評価としては CO2 削減効果や,防災拠点における普及率などでよいが, 事業実施後には, 例えば,防災拠点に再生可能エネルギーを導入することで,どのくらいの命が救えるのかというような, 震災のあった神戸ならではの定性的でありながら定量的な評価をするべきではないか。</li> <li>・ 防災拠点への再生可能エネルギー導入のしくみをパッケージとして海外へも示すことができるとよい。</li> </ul>
<p>(事務局)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 評価方法については,現状では5つの指標で届出しているが,その他の指標についても報告できるように検討する。</li> </ul>
<p>(会長)</p>	<p>本委員会での議事は了承とし,事務局においては,本日の委員会の意見を反映して,最終年度の事業を執行すること。</p>
<p>○事務局連絡</p>	<p>今後の予定</p>
<p>○閉会</p>	